



CHROMALIGHT DISPLAY

OPTIMAL AND LONG-LASTING LEGIBILITY

クロマライト ディスプレイは、暗闇でブルーの光を放ちます。
オイスター パーペチュアル コレクションのプロフェッショナル ウォッチと
多くのクラシック ウォッチの針、アワーマーカ―やその他の表示は
ロレックス独自の発光素材でコーティングまたは充填されており
長時間継続する優れた視認性を保証します。



CHROMALIGHT DISPLAY

暗闇で、洞窟の奥深くで、または視界の悪い水中で、ロレックス ウォッチの着用者は容易にそして確信を持って時間を読み取ることができなければなりません。そのため、ロレックスは暗い環境においても時計の視認性が保てるよう、特別な発光素材を使用しています。ただしデザイン上の理由から、一部のクラシック ウォッチは除きます。

HIGH-PERFORMANCE LUMINESCENCE

ロレックスは2008年、ダイバーズウォッチのロレックス ディープシーに搭載された革新的なクロマライト ディスプレイを発表しました。暗闇に時計が入ると針、アワーマーカ―とその他の表示がブルーの光を放ちます。

さまざまな部品をコーティングまたは充填するのに用いられる発光素材はロレックス独自のもので、時計製造業界の基準をはるかに上回る明るさで、長時間継続します。クロマライト ディスプレイの発光時間は従来の素材の約2倍長く持続します。また、発光時間を通じて、より安定した光を放ちます。

2021年にロレックスはクロマライト ディスプレイをさらに最適化しました。革新的な新しい発光素材により、ブルーの光の強さがより長く持続するようになりました。また、日光の下では表示がより鮮やかな白色に見えます。最適化されたクロマライト ディスプレイは、同年に発表された新世代エクスプローラーとエクスプローラー IIに初めて採用されました。新しい発光素材はカタログにある他のモデルにも徐々に採用されていく予定です。

MANUFACTURING PROCESS

発光素材の原料はアルミニウム、ストロンチウム、ジスプロシウム、ユウロピウムを含む微細なパウダーで、複雑で繊細な製造過程を経てつくられます。この物質をクロマライト ディスプレイの特徴的なブルーの光を放つようにするためには、完璧にコントロールされた高温の反応が必要となります。この反応で生じる結晶構造によって、ブルーの光を生み出すことができます。この物質には、光のエネルギーを蓄え、暗くなるとゆっくりと放出することができるリン光性があります。発光には物質内部でのエネルギー放出が関わり、この現象により、光を構成する素粒子である光子が生み出されます。最終工程で、粉末が液体樹脂と混ぜられ、部品に手作業で塗布されます。正確な量の材料を使用し、ロレックスの厳しい品質基準を満たす完璧に均一な仕上げを実現するために、多大な厳密さと緻密さが必要とされます。



CHROMALIGHT DISPLAY

クロマライト ディスプレイは今日、オイスター パーペチュアル コレクションのプロフェッショナル
ウォッチの重要な特徴であり、2015年からは多くのクラシック ウォッチにも採用されています。